

令和4年度 学校運営協議会記録

1 日 時 令和5年3月6日（月）10:00～11:00

2 内 容

- ・ 保護者アンケートの間6「どんな力を付けさせたいですか」では、「思いやりの心」「コミュニケーション能力」を選択した保護者が多い。金子小学校では、コロナ禍でなかなか実施しにくかった地域の方や外部講師の方との交流も今年度はほぼ行うことができ、そうした活動や授業での対話を通してコミュニケーション能力の育成に努めている。保護者にも活動の様子を伝えながら、今後も取組を継続していきたい。
- ・ 児童アンケートの間12「家族と学校のことをよく話す」の結果が、学年が上がるにつれて低くなっていることが気になる。発達段階も関係してくるが、子どもの様子を見て、保護者から声を掛けることも必要だと考える。子どもも保護者も忙しく対話が不十分なのかもしれないが、親と子の関係では対話が大事になってくる。学校としては、子どもと保護者が対話するきっかけづくりを行っていきたい。
- ・ 授業の様子では、子どもたちは落ち着いて学習に取り組んでいた。また、先生たちと子どもたちの距離感が良く、子どもたちもいい表情だった。先生は学習訓練をしっかりと身に付けさせ、丁寧に教えていた。しかし、きちんと座れていない子どももいたので、今後も姿勢について呼び掛けていきたい。
- ・ 保護者の中には、担任以外の先生と相談する機会が少ないと感じている方もいる。また、相談する機会を持つ方法が分からない場合もある。学校としては、いつでも保護者が安心して学校に相談ができる機会、言いやすい雰囲気づくりが必要だと考える。
- ・ コミュニティ・スクールについては、金子小学校区においてもいろいろな活動を行っている。今後も、コミュニティ・スクールの活動であるということ意識しながら取り組む必要がある。